



2023年7月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2023年9月11日

上場会社名 サムコ 株式会社

上場取引所 東

コード番号 6387 URL <https://www.samco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川邊 史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理統括部長 (氏名) 宮本 省三

TEL 075-621-7841

定時株主総会開催予定日 2023年10月24日

配当支払開始予定日

2023年10月25日

有価証券報告書提出予定日 2023年10月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年7月期の業績(2022年8月1日～2023年7月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期	7,830	22.3	1,858	35.6	1,927	30.1	1,366	29.7
2022年7月期	6,401	11.4	1,371	38.6	1,481	41.8	1,052	39.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年7月期	170.07		12.9	13.7	23.7
2022年7月期	131.07		10.8	11.6	21.4

(参考) 持分法投資損益 2023年7月期 百万円 2022年7月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年7月期	14,795	11,144	75.3	1,387.39
2022年7月期	13,379	10,057	75.2	1,252.06

(参考) 自己資本 2023年7月期 11,144百万円 2022年7月期 10,057百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年7月期	189	75	325	3,374
2022年7月期	1,181	214	64	3,919

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年7月期		0.00		35.00	35.00	281	26.7	2.9
2023年7月期		0.00		45.00	45.00	361	26.5	3.4
2024年7月期(予想)		0.00		45.00	45.00		23.9	

(注) 2023年7月期における1株当たり期末配当金については、35円から45円に変更しております。詳細については、本日(2023年9月11日)公表いたしました「剰余金の配当(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年7月期の業績予想(2023年8月1日～2024年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,520	17.4	1,140	18.2	1,150	17.1	780	11.3	97.10
通期	8,500	8.5	1,990	7.0	2,010	4.3	1,370	0.3	170.56

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年7月期	8,042,881 株	2022年7月期	8,042,881 株
期末自己株式数	2023年7月期	10,405 株	2022年7月期	10,128 株
期中平均株式数	2023年7月期	8,032,618 株	2022年7月期	8,032,762 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他に関する事項については、【添付資料】2ページ、「1. 経営成績等の概況(1)経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(持分法損益等)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14
4. その他	15
(1) 役員の変動	15
(2) 生産、受注及び販売の状況	15

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

当事業年度における世界経済は、ウクライナ情勢を受けた資源・穀物価格の高騰、インフレリスクに対応した欧米諸国での政策金利の引き上げ、中国の景気減速等、先行き不透明な状況が続きました。一方、国内経済は、新型コロナウイルス感染症にかかる行動制限緩和後の需要回復に加え、緩和的な金融環境や経済対策の効果もあり、穏やかに回復いたしました。

半導体等電子部品業界におきましては、当社の関わる化合物半導体及び電子部品製造装置の販売マーケットにおいて、5G（第5世代移動通信システム）の普及に伴いその「高速・大容量」「低遅延」「多接続」という特色を生かした新たな事業領域での開発投資が幅広い企業で進み、本格生産への移行が進んでおります。加えて、不透明さを増す国際情勢を背景に、各国が自国での半導体産業育成の取り組みを強化しており、半導体等電子部品製造装置の需要は拡大しております。

このような状況の下、当社ではオプトエレクトロニクス分野では通信用・顔認証用・車載用等のレーザーダイオードやLED用途、電子部品分野では高周波デバイス、パワーデバイス、量子デバイス用途、シリコン分野では欠陥解析用途、表示デバイス分野ではVRディスプレイ用途、その他分野では大学・研究機関での共用設備向けの研究開発機や医療・バイオテクノロジー用途向けの製造装置の販売実績がありました。また、新規事業（ヘルスケア事業）の創出に向けた技術開発への取り組みや、水蒸気を用いたプラズマ処理装置であるAqua Plasma（アクアプラズマ）洗浄装置の拡販による新たな事業領域の拡大に注力いたしました。

その結果、国内売上高は5,145百万円（前期比24.3%増）、海外売上高は2,685百万円（前期比18.6%増）となり、海外売上高比率は34.3%となりました。また、当事業年度の受注高は8,221百万円（前期比2.1%減）となり、当事業年度末の受注残高は5,418百万円（前期比7.8%増）となりました。

品目別売上高では、CVD装置の売上高は、オプトエレクトロニクス分野のレーザーダイオード、電子部品分野での高周波デバイスにおける各種絶縁膜、保護膜形成用途での販売により、1,299百万円（前期比18.9%増）となりました。エッチング装置の売上高は、電子部品分野での高周波デバイスや各種センサー、オプトエレクトロニクス分野のレーザーダイオード、シリコン分野の欠陥解析など幅広い用途での販売により、3,957百万円（前期比34.8%増）となりました。洗浄装置の売上高は、実装・表面処理分野の各種表面改質用途、電子部品分野での各種センサーの洗浄用の生産機や、医療・バイオ関係の表面有機物除去用などの販売により、833百万円（前期比65.1%増）となりました。部品・メンテナンスの売上高は、既存装置のメンテナンスや部品販売、装置の移設・改造などで、1,740百万円（前期比6.9%減）となりました。

以上の結果、当事業年度における業績は、売上高が7,830百万円（前期比22.3%増）、営業利益は1,858百万円（前期比35.6%増）、経常利益は1,927百万円（前期比30.1%増）、当期純利益は1,366百万円（前期比29.7%増）となりました。

(品目別売上高)

品 目	売 上 高 (千円)	構 成 比 (%)	前年同期比 (%)
CVD装置	1,299,424	16.6	18.9
エッチング装置	3,957,103	50.5	34.8
洗浄装置	833,607	10.6	65.1
部品・メンテナンス	1,740,456	22.2	△6.9
合計	7,830,591	100.0	22.3

(用途別売上高)

用 途	売 上 高 (千円)	構 成 比 (%)	前年同期比 (%)
オプトエレクトロニクス分野	1,745,361	22.3	37.9
電子部品分野	2,411,376	30.8	23.5
シリコン分野	518,484	6.6	△21.5
実装・表面処理分野	263,395	3.4	328.3
表示デバイス分野	72,242	0.9	△27.2
その他分野	1,079,275	13.8	118.6
部品・メンテナンス	1,740,456	22.2	△6.9
合計	7,830,591	100.0	22.3

今後の経済環境につきましては、国内経済は穏やかな回復を続けるとみられるものの、ウクライナ情勢をはじめとする地政学的リスクの高まりによる資源・穀物価格の変動や、米欧の経済・物価情勢と金融・為替市場の動向、中国の景気減速等、予断を許さない状況が続くことが予想されます。その一方で、当社の主たる事業領域である化合物半導体及び電子部品製造装置のマーケットでは、DX（デジタルトランスフォーメーション）、自動運転、電気自動車、AI（人工知能）、ロボット、量子コンピューター等の技術革新の進展に伴い、関連企業は設備投資に対して積極的な姿勢を示しております。

このような環境の下、中期経営計画 第44期～第46期（2022年8月1日～2025年7月31日）において以下の課題に取り組み、施策の展開により事業計画の達成に努めております。

- ① クラスターツールシステムの拡販
- ② 海外販売の拡大
- ③ 生産体制の拡充
- ④ 成膜装置販売の強化
- ⑤ 新規事業の立ち上げ
- ⑥ 更なる成長に向けた人材育成・活用
- ⑦ 社内環境対策（サムコ環境方針）への取り組み強化

当事業年度末の受注残高は5,418百万円（前期比7.8%増）であり、オプトエレクトロニクス分野では通信用・顔認証用・車載用のレーザーダイオードやマイクロLED用途、電子部品分野では高周波デバイス、パワーデバイス、各種センサー用途等での受注を見込んでおります。また、実装・表面処理分野では引き続きアクアプラズマを重点製品として販売活動を推進しております。

以上の取り組みにより、次期の売上高は8,500百万円（前期比8.5%増）、営業利益は1,990百万円（前期比7.0%増）、経常利益は2,010百万円（前期比4.3%増）、当期純利益は1,370百万円（前期比0.3%増）となる見込みであります。なお、業績予想の前提となる為替レートは、1米ドル＝140.00円としております。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は、10,175百万円で前事業年度末に比べ1,335百万円増加いたしました。現金及び預金が525百万円減少した一方、売掛金及び契約資産が1,176百万円、棚卸資産が585百万円増加したのが主な要因であります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は、4,619百万円で前事業年度末に比べ80百万円増加いたしました。機械及び装置が12百万円、建物が12百万円減少した一方、建設仮勘定が70百万円、保険積立金が20百万円増加したのが主な要因であります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は、2,676百万円で前事業年度末に比べ361百万円増加いたしました。未払法人税等が153百万円、契約負債が118百万円増加したのが主な要因であります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は、974百万円で前事業年度末に比べ33百万円減少いたしました。長期借入金金が39百万円減少したのが主な要因であります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は、11,144百万円で前事業年度末に比べ1,086百万円増加いたしました。繰越利益剰余金が1,084百万円増加したのが主な要因であります。自己資本比率は75.3%と前事業年度末に比べ0.1ポイント上昇いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ545百万円減少し、3,374百万円（前事業年度末比13.9%減）となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は189百万円（前期に得られた資金は1,181百万円）となりました。その主な内容は、税引前当期純利益が1,927百万円に対して、売上債権及び契約資産の増加が1,301百万円、棚卸資産の増加が667百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は75百万円（前期に使用した資金は214百万円）となりました。その主な内容は、定期預金の払戻による収入が2,607百万円に対して、定期預金の預入による支出が2,647百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は325百万円（前期に使用した資金は64百万円）となりました。これは主に配当金の支払額が281百万円、長期借入金の返済による支出が39百万円であったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年7月期	2020年7月期	2021年7月期	2022年7月期	2023年7月期
自己資本比率 (%)	76.8	77.9	78.0	75.2	75.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	67.2	203.9	204.0	168.7	288.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.9	0.8	1.4	0.8	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	243.9	245.5	142.5	303.5	—

(注) 1. 各指標は、下記の基準で算出しております。

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。

4. 2023年7月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は株主の皆様への利益還元を経営の重点政策として位置付けております。経営体質の強化や研究開発における設備投資等に必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続する基本方針のもと余剰資金につきましては業績連動的な配当の考え方を合わせて取り入れております。

また、当社は期末配当として年1回の剰余金の配当を行うことを基本方針としており、期末配当については株主総会にて決定しております。なお、当社は、「取締役会の決議により、毎年1月31日を基準日として、中間配当を行うことができる。」旨を定款に定めております。中間配当につきましては、年間を通じての出荷平準化の取り組みにより第2四半期累計期間での利益確保を前提に早期の実施を目指しております。

以上により当期の期末配当は、1株につき普通配当45円00銭を予定しております。また、次期の配当につきましても年間普通配当45円00銭を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年7月31日)	当事業年度 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,826,790	5,301,752
受取手形	11,429	12,252
電子記録債権	57,931	182,574
売掛金	536,715	1,449,637
契約資産	777,072	1,040,189
製品	7,974	—
仕掛品	1,268,297	1,741,835
原材料及び貯蔵品	308,935	428,537
前払費用	12,522	9,815
その他	32,919	29,974
貸倒引当金	△141	△20,984
流動資産合計	8,840,448	10,175,585

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年7月31日)	当事業年度 (2023年7月31日)
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,099,671	1,113,037
減価償却累計額	△798,686	△824,645
建物(純額)	300,985	288,392
構築物	27,100	27,100
減価償却累計額	△24,908	△25,093
構築物(純額)	2,191	2,007
機械及び装置	764,976	689,649
減価償却累計額	△732,673	△670,345
機械及び装置(純額)	32,302	19,303
車両運搬具	55,024	56,314
減価償却累計額	△51,251	△52,778
車両運搬具(純額)	3,773	3,536
工具、器具及び備品	243,062	256,030
減価償却累計額	△224,898	△233,988
工具、器具及び備品(純額)	18,164	22,042
土地	3,453,567	3,453,567
リース資産	50,790	50,790
減価償却累計額	△49,780	△50,790
リース資産(純額)	1,009	—
建設仮勘定	3,869	74,611
有形固定資産合計	3,815,865	3,863,459
無形固定資産		
電話加入権	2,962	2,962
ソフトウェア	—	1,402
水道施設利用権	143	—
リース資産	1,828	—
無形固定資産合計	4,934	4,364
投資その他の資産		
投資有価証券	290,122	300,794
関係会社株式	25,207	25,207
出資金	5,000	5,000
関係会社長期貸付金	19,044	12,150
繰延税金資産	121,990	129,893
差入保証金	76,823	78,378
保険積立金	179,066	199,206
その他	1,138	991
投資その他の資産合計	718,392	751,621
固定資産合計	4,539,192	4,619,445
資産合計	13,379,640	14,795,031

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年7月31日)	当事業年度 (2023年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	779,591	861,405
短期借入金	700,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
リース債務	2,838	—
未払金	110,224	126,249
未払費用	38,697	43,846
未払法人税等	258,203	411,448
契約負債	217,378	335,648
預り金	35,443	39,874
賞与引当金	23,700	25,500
役員賞与引当金	30,000	30,000
製品保証引当金	15,400	18,000
その他	62,766	44,069
流動負債合計	2,314,240	2,676,039
固定負債		
長期借入金	143,339	103,343
退職給付引当金	479,575	476,640
役員退職慰労引当金	384,954	394,752
固定負債合計	1,007,868	974,736
負債合計	3,322,108	3,650,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,663,687	1,663,687
資本剰余金		
資本準備金	2,079,487	2,079,487
資本剰余金合計	2,079,487	2,079,487
利益剰余金		
利益準備金	59,500	59,500
その他利益剰余金		
別途積立金	4,367,000	4,367,000
繰越利益剰余金	1,752,437	2,837,418
利益剰余金合計	6,178,937	7,263,918
自己株式	△12,238	△13,453
株主資本合計	9,909,873	10,993,640
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	147,658	150,615
評価・換算差額等合計	147,658	150,615
純資産合計	10,057,532	11,144,255
負債純資産合計	13,379,640	14,795,031

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)	当事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
売上高	6,401,870	7,830,591
売上原価		
製品期首棚卸高	55,667	7,974
当期製品製造原価	3,164,330	3,953,590
合計	3,219,997	3,961,565
製品期末棚卸高	7,974	—
製品売上原価	3,212,022	3,961,565
売上総利益	3,189,847	3,869,026
販売費及び一般管理費	1,818,641	2,010,032
営業利益	1,371,206	1,858,994
営業外収益		
受取利息	390	302
受取配当金	3,992	23,674
為替差益	87,594	30,609
受取賃貸料	11,860	11,437
補助金収入	1,595	1,904
売電収入	1,397	1,344
違約金収入	5,199	—
雑収入	2,271	3,167
営業外収益合計	114,302	72,439
営業外費用		
支払利息	3,865	4,268
固定資産除却損	237	0
営業外費用合計	4,103	4,268
経常利益	1,481,405	1,927,165
税引前当期純利益	1,481,405	1,927,165
法人税、住民税及び事業税	377,510	570,239
法人税等調整額	50,984	△9,202
法人税等合計	428,494	561,037
当期純利益	1,052,910	1,366,127

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	1,663,687	2,079,487	2,079,487	59,500	3,867,000	1,590,547	5,517,047	△12,184	9,248,037
会計方針の変更による累積的影響額						△150,037	△150,037		△150,037
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,663,687	2,079,487	2,079,487	59,500	3,867,000	1,440,510	5,367,010	△12,184	9,098,000
当期変動額									
剰余金の配当						△240,983	△240,983		△240,983
当期純利益						1,052,910	1,052,910		1,052,910
別途積立金の積立					500,000	△500,000	—		—
自己株式の取得								△54	△54
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	500,000	311,927	811,927	△54	811,872
当期末残高	1,663,687	2,079,487	2,079,487	59,500	4,367,000	1,752,437	6,178,937	△12,238	9,909,873

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	162,165	162,165	9,410,203
会計方針の変更による累積的影響額			△150,037
会計方針の変更を反映した当期首残高	162,165	162,165	9,260,166
当期変動額			
剰余金の配当			△240,983
当期純利益			1,052,910
別途積立金の積立			—
自己株式の取得			△54
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△14,507	△14,507	△14,507
当期変動額合計	△14,507	△14,507	797,365
当期末残高	147,658	147,658	10,057,532

当事業年度(自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	1,663,687	2,079,487	2,079,487	59,500	4,367,000	1,752,437	6,178,937	△12,238	9,909,873
当期変動額									
剰余金の配当						△281,146	△281,146		△281,146
当期純利益						1,366,127	1,366,127		1,366,127
自己株式の取得								△1,214	△1,214
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	1,084,981	1,084,981	△1,214	1,083,766
当期末残高	1,663,687	2,079,487	2,079,487	59,500	4,367,000	2,837,418	7,263,918	△13,453	10,993,640

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	147,658	147,658	10,057,532
当期変動額			
剰余金の配当			△281,146
当期純利益			1,366,127
自己株式の取得			△1,214
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	2,956	2,956	2,956
当期変動額合計	2,956	2,956	1,086,723
当期末残高	150,615	150,615	11,144,255

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)	当事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,481,405	1,927,165
減価償却費	75,525	57,476
受取利息及び受取配当金	△4,383	△23,976
支払利息	3,865	4,268
為替差損益(△は益)	△95,297	△28,118
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△57	20,842
賞与引当金の増減額(△は減少)	600	1,800
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△3,000	2,600
退職給付引当金の増減額(△は減少)	19,479	△2,934
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,662	9,798
売上債権の増減額(△は増加)	△619,116	△1,038,387
契約資産の増減額(△は増加)	777,072	△263,116
棚卸資産の増減額(△は増加)	△525,555	△667,825
仕入債務の増減額(△は減少)	133,058	81,813
契約負債の増減額(△は減少)	137,704	118,269
その他	89,509	13,301
小計	1,480,473	212,977
利息及び配当金の受取額	4,320	24,100
利息の支払額	△3,891	△4,378
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△299,734	△422,095
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,181,167	△189,395
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,615,463	△2,647,225
定期預金の払戻による収入	2,605,577	2,607,935
投資有価証券の取得による支出	△5,957	△6,416
有形固定資産の取得による支出	△234,223	△18,852
貸付金の回収による収入	53,009	13,304
保険積立金の積立による支出	△20,140	△20,140
その他	3,156	△4,534
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214,042	△75,930
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	183,335	—
長期借入金の返済による支出	—	△39,996
自己株式の取得による支出	△54	△1,214
配当金の支払額	△240,983	△281,146
その他	△6,403	△2,838
財務活動によるキャッシュ・フロー	△64,106	△325,194
現金及び現金同等物に係る換算差額	51,257	45,305
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	954,275	△545,215
現金及び現金同等物の期首残高	2,965,313	3,919,589
現金及び現金同等物の期末残高	3,919,589	3,374,374

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略していません。

【関連情報】

前事業年度(自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	CVD装置	エッチング装置	洗浄装置	その他	合計
外部顧客への売上高	1,092,963	2,934,933	504,808	1,869,165	6,401,870

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	台湾	中国	韓国	米国	東南アジア・インド	その他	合計
4,138,097	171,305	1,053,998	322,908	363,573	214,854	137,132	6,401,870

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
スカイワークスフィルターソリューションズ ジャパン(株)	1,212,356	半導体等電子部品製造装置の製造及び販売

当事業年度(自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	CVD装置	エッチング装置	洗浄装置	その他	合計
外部顧客への売上高	1,299,424	3,957,103	833,607	1,740,456	7,830,591

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	台湾	中国	韓国	米国	東南アジア・インド	その他	合計
5,145,463	248,827	1,269,076	475,902	445,763	109,724	135,835	7,830,591

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
スカイワークスフィルターソリューションズ ジャパン(株)	798,511	半導体等電子部品製造装置の製造及び販売

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)	当事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
1株当たり純資産額	1,252円06銭	1,387円39銭
1株当たり当期純利益	131円07銭	170円07銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)	当事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)
当期純利益(千円)	1,052,910	1,366,127
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,052,910	1,366,127
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,032	8,032

(重要な後発事象)
該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の異動

① 代表取締役の異動

該当事項はありません。

② その他の役員の異動

該当事項はありません。

③ 新執行役員体制 (2023年10月24日以降予定)

専務執行役員 (昇格)	山下 晴彦	(取締役 生産統括部長 兼 製造部長)
執行役員	宮本 省三	(取締役 管理統括部長 兼 経理部長)
執行役員	佐藤 清志	(取締役 営業統括部長 兼 営業推進部長)
常務執行役員	外山 信一	(営業副統括部長)
執行役員	本山 慎一	(技術開発統括部長)
執行役員	松出 和男	(海外事業統括部 部長(海外事業管理統括))
執行役員 (新任)	江崎 裕二	(資材部長)
執行役員 (新任)	ヘンリー・チャン	(U Sオペレーション担当部長)
執行役員 (新任)	上杉 能章	(海外事業統括部 部長(海外営業統括) 兼 海外営業1部長)

(2) 生産、受注及び販売の状況

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては、当社の品目別及び地域別に記載しております。

① 生産実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前事業年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)		当事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
	CVD装置	1,088,227	16.0	1,487,309
エッチング装置	3,249,167	47.9	4,090,701	48.9
洗浄装置	448,186	6.6	976,525	11.7
部品・メンテナンス	2,000,996	29.5	1,818,594	21.7
合計	6,786,577	100.0	8,373,131	100.0

(注) 金額は販売価格によっております。

② 受注実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前事業年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)		当事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	
	受注高	受注残	受注高	受注残
CVD装置	1,474,694	1,153,799	1,293,600	1,147,975
エッチング装置	3,962,271	2,676,782	4,742,346	3,462,025
洗浄装置	829,016	402,219	755,993	324,606
部品・メンテナンス	2,135,964	794,944	1,429,529	484,018
合計	8,401,948	5,027,746	8,221,470	5,418,624

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 受注残は収益認識会計基準等の適用後の数値を記載しております。

③ 販売実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前事業年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)		当事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
エッチング装置	2,934,933	45.8	3,957,103	50.5
洗浄装置	504,808	7.9	833,607	10.6
部品・メンテナンス	1,869,165	29.2	1,740,456	22.2
合計	6,401,870	100.0	7,830,591	100.0

(注) 主な輸出地域、輸出版売高及び割合は次の通りであります。

(単位：千円)

区分 (地域別)	前事業年度 (自 2021年8月1日 至 2022年7月31日)		当事業年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
北米	391,474	17.3	445,802	16.6
欧州	75,545	3.3	64,449	2.4
その他	33,686	1.5	71,347	2.7
輸出版売高合計	2,263,773 (35.4%)	100.0	2,685,128 (34.3%)	100.0

(注) () 内は総販売実績に対する輸出版売高の割合です。